

①題：「この曲がった時代から」(31分)

210605

説教者 : 花田憲彦

聖書朗読 : 使徒行伝2章37~41節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『キリストへの道』22頁

「延ばさないように気をつけましょう。罪を捨てることを延ばし、イエスによって心を清めていただくことを遅らせてはなりません。この点で幾千という人が誤り、永久に滅びてしまいました。……ここに人の気づかない恐ろしい危険があります。それは、神のみたまのささやきに従うことを延ばし罪の生活を続けていくという恐ろしい危険であります。これは実に恐ろしいことです。たとえどんなに小さくても、罪にふけることは、永遠に失われる危険をおかしているのです。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 283番

終わりの讃美歌 : 希望の賛美歌 436番

②題：「ここに上ってきなさい」(31分)

210807

説教者 : 長谷川徹

聖書朗読 : ヨハネの黙示録4章1節

瞑想の言葉 : ロビン・ウィトカー (神学者)

「黙示文学は、破滅をもたらす災厄に関するものだと、一般的には考えられている。しかし、ヨハネの黙示録は、神が世界をどのようにご覧になっているかに関するものである。それは、悪と不正義をそのままに示すものでもある。われわれは、そのような意味での黙示をコロナウィルス感染症拡大の間、目にしてきた。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 340番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 349番

③題：「ティアティラ的だとしても」(24分)

211016

説教者 : 堀圭佑

聖書朗読 : ヨハネの黙示録2章26~29節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『各時代の争闘 (明日への希望)』1743,1744頁

「神の聖霊の感動とみ言葉の教えに従った忠実な人々が、この警告を世界に宣言するのであった。彼らは、『夜が明け、明星がのぼる……まで、この預言の言葉を』心にとめていた人々であった(IIペテロ1:19)。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 2番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 290番

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。